

ディボーション質問表



1日(月) エレミヤ書 21:1~7 ゼデキヤに対する預言 1

1. 21~25章は、ユダの王ゼデキヤの時代に神がエレミヤを通して語られた内容です。ゼデキヤ王については、Ⅱ列王記24:17~25:7節に書かれています。この箇所から、彼がどのような王様だった事が分かるでしょうか。その内容を書き出してみましょう。
2. 今日の箇所で、ゼデキヤ王はエレミヤに人を遣わし何と言わせていますか？ それに対してエレミヤはどのように答えていますか？ その内容をまとめてみましょう。

2日(火) エレミヤ書 21:8~14 ゼデキヤに対する預言 2

1. 8~10節は神がエレミヤに語られた内容です。神はユダの民の前に「いのちの道と死の道を置く」と言われました。その道はどのようなものでしょうか？ あなたが選ばれた道はどちらでしょうか？
2. ユダの王家(11~12節)とエルサレムの住民(13~14節)に言われている内容をまとめてみましょう。そこから適用として学ぶ事が出来ることは何だと思えますか？

3日(水) エレミヤ書 22:1~12 ユダの王たちについての預言 1

1. 神がユダの王に求めておられる事は何だと言われているでしょうか？ なぜユダの王にとってこのように生きる事が必要なのだと思えますか(1~5節)？
2. 6~12節に書かれているユダの王たちへの裁きの言葉を観察してみましょう。神はこのところでは何を言おうとしておられると思えますか？

4日(木) エレミヤ書 22:13~30 ユダの王たちについての預言 2

1. 13~19節はエホヤキム王について、24~27節はエホヤキン王についての言葉です。それぞれどんな事が言われているのか、まとめてみましょう。共通点があるでしょうか？
2. ついにダビデの家系の王はエコヌヤ(エホヤキン王)をもってついでます。バビロン移住の後、彼にはサラテルという子が生まれますが、もはや歴史の表舞台に登場することはありませんでした。しかし、それから14代を経てイエス様が誕生します。人の社会的身分と個人としての価値について考えてみましょう。あなたは肩書きに頼っていませんか。神は何に頼る事を望んでおられると思えますか？

5日(金) エレミヤ書 23:1~8 ユダの回復

1. 神が牧者たち(1節、政治的指導者)を責めておられる内容が2節に書かれています。牧者たちのしていた事とそれに対する裁きの内容を書き出してみましょう。
2. 2節のような状態の彼らに対して、神は3節以降約束を与えておられます。その内容をまとめ、神の恵みを味わってきましょう。

6日(土) エレミヤ書 23:9~40 偽りの預言者

1. 偽預言者の言葉をとおして、悪魔は何をもくろんでいますか？ またそれへの対抗措置は何だと思えますか？
2. 主が計画したイスラエルの回復と偽預言者の言葉にはどんな違いがありますか？ 私たちの安心の土台についてもう一度考えてみましょう。
3. 罪を犯した国に対する神の裁きは激烈ですが、個人には常に悔い改めのチャンスがあります。自分たちの国とは何か、それに対して個人の尊厳はどう守られるべきだと思えますか？